

資料編

③ 一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額

31ページ参照

④ 業種別の個別貸倒引当金及び貸出金償却の残高等

(単位：百万円)

業種区分	個別貸倒引当金										貸出金償却	
	期首残高		当期増加額		当期減少額				期末残高			
					目的使用		その他					
	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度
製造業	5	8	8	7	—	—	5	8	8	7	—	—
農業、林業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
漁業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設業	104	87	87	80	—	—	104	87	87	80	—	—
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
情報通信業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
運輸業、郵便業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
卸売業、小売業	127	133	133	179	11	—	116	133	133	179	—	—
金融業、保険業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
不動産業	18	32	32	23	—	—	18	32	32	23	—	—
物品賃貸業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
学術研究、専門・技術サービス業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宿泊業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
飲食業	58	13	13	13	48	—	10	13	13	13	—	—
生活関連サービス業、娯楽業	0	—	—	—	—	—	0	—	—	—	—	—
教育、学習支援業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
医療、福祉	10	12	12	12	—	—	10	12	12	12	—	—
その他のサービス	23	17	17	15	—	—	23	17	17	15	—	—
国・地方公共団体等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
個人	32	33	33	32	—	—	32	33	33	32	—	—
合計	381	339	339	363	59	—	321	339	339	363	—	—

(注) 1. 当金庫は、国内の限定されたエリアにて事業活動を行っているため、「地域別」の区分は省略しております。
2. 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

(4) 信用リスク削減手法に関する事項

信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー

(単位：百万円)

信用リスク削減手法 ポートフォリオ	適格金融資産担保		保証		クレジット・デリバティブ	
	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度
信用リスク削減手法が適用された エクスポージャー	1,011	956	7,859	12,026	—	—

(注) 当金庫は、適格金融資産担保について簡便手法を用いております。

(5) 派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項

該当ありません

(6) 証券化エクスポージャーに関する事項

- イ. オリジネーターの場合（信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャーに関する事項）
該当ありません
- ロ. 投資家の場合（信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャーに関する事項）
該当ありません

(7) 出資等エクスポージャーに関する事項

① 貸借対照表計上額及び時価等

(単位：百万円)

区 分	2018年度		2019年度	
	貸借対照表計上額	時 価	貸借対照表計上額	時 価
上場株式等	39	39	32	32
非上場株式等	488	488	486	486
合 計	528	528	519	519

② 出資等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額

(単位：百万円)

	2018年度	2019年度
売 却 益	10	5
売 却 損	12	—
償 却	—	2

(注) 損益計算書における損益の額を記載しております。

③ 貸借対照表で認識され、かつ、損益計算書で認識されない評価損益の額

(単位：百万円)

	2018年度	2019年度
評 価 損 益	28	25

④ 貸借対照表及び損益計算書で認識されない評価損益の額 該当ありません

(8) リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャーに関する事項

(単位：百万円)

	2018年度	2019年度
ルック・スルー方式を適用するエクスポージャー	8,586	11,900
マンドート方式を適用するエクスポージャー	—	—
蓋然性方式を(250%)を適用するエクスポージャー	—	—
蓋然性方式を(400%)を適用するエクスポージャー	—	—
フォールバック方式(1250%)を適用するエクスポージャー	—	—

(9) 金利リスクに関する事項

(単位：百万円)

IRRBB 1：金利リスク					
項番		イ	ロ	ハ	ニ
		△EVE		△NII	
		当期末	前期末	当期末	前期末
1	上方パラレルシフト	4,834	4,642	0	
2	下方パラレルシフト	0	0	0	
3	ス テ ィ ー プ 化	4,075	3,992		
4	フ ラ ッ ト 化				
5	短 期 金 利 上 昇				
6	短 期 金 利 低 下				
7	最 大 値	4,834	4,642	0	
		ホ		ヘ	
		当期末		当期末	
8	自 己 資 本 の 額	8,535		8,308	

(注) 1. 金利リスクの算定手法の概要等は、「定性的な開示事項」の項目に記載しております。

2. 「金利リスクに関する事項」については、平成31年金融庁告示第3号(2019年2月18日)による改正を受け、2020年3月末から△NIIを開示することとなりました。このため、開示初年度につき、当期末分のみを開示しております。